

2021年度 第3回 WEBアンケート 調査報告書

1 「気候危機」

環境局環境保全部環境保全課

2 「災害への備え」

総務局危機管理課

3 「水辺や花とのかかわり」

都市局公園緑地部緑政課

市民局市民自治推進部広報広聴課

目次

WEBアンケート調査結果	ページ
・ 「気候危機」 1
・ 「災害への備え」 3
・ 「水辺や花とのかかわり」 5
・ その他 7

回答者属性

回答者数	1,013 人
------	---------

性別		
男性	473	46.7%
女性	518	51.1%
その他	6	0.6%
未回答	16	1.6%

職業		
会社員	348	34.4%
自営・自由業	52	5.1%
パート・アルバイト	160	15.8%
公務員	48	4.7%
学生	38	3.8%
専業主婦・主夫	185	18.3%
無職	161	15.9%
その他	21	2.1%

年代		
10代以下	35	3.5%
20代	34	3.4%
30代	114	11.3%
40代	246	24.3%
50代	269	26.6%
60代	166	16.4%
70代以上	149	14.7%

居住区		
中央区	197	19.4%
花見川区	155	15.3%
稲毛区	155	15.3%
若葉区	101	10.0%
緑区	124	12.2%
美浜区	246	24.3%
市内在勤・在学	35	3.5%

令和3年度 第3回

調査名	「気候危機」「災害への備え」「水辺や花とのかかわり」
調査期間	2021年6月1日(火)午前10時～6月10日(木)午後5時
回答者数	1,013人

※割合(%)は、小数点第2位以下四捨五入のため、割合の合計が100%にならない場合があります。
 ※複数回答の割合(%)は、各設問の対象者数を基数(n)としているため、割合の合計が100%を超える場合があります。
 ※回答項目については、見やすさを重視し、一部並び方を変更しております。

概要:	<p>1「気候危機」 気候危機※に関する認知度などをお聞かせいただき、今後の施策の参考とさせていただきます。 ※猛暑や豪雨など温暖化が原因とされる災害が多発しており、もはや気候変動は、私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」と言われています。</p> <p>2「災害への備え」 大規模な災害に対する備えや取り組み、防災・減災に対する意識について皆様からご意見を頂き、今後の防災・減災対策などの参考とさせていただきます。</p> <p>3「水辺や花とのかかわり」 日々の生活で触れ合う「水辺」や「花のある空間」についてお聞かせいただき、緑と水辺に関するまちづくりの参考とさせていただきます。</p>
-----	---

参考URL	https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/hozen/ondanka/kikokikikodosengen.html https://www.city.chiba.jp/somu/kikikanri/index.html https://www.city.chiba.jp/somu/bosai/index.html https://www.city.chiba.jp/toshi/koenryokuchi/ryokusei/midoritomizubenohp.html
-------	--

Q1: はじめに、「気候危機」についてお聞きします。
 国が2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることを目指す脱炭素社会の実現※を目標に掲げていることを知っていましたか。

※地球温暖化による深刻な影響を避けるために、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする必要があります。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,013]
知っていた	745	73.5%
知らなかった	268	26.5%

Q2: 本市が2020年11月20日に「千葉市気候危機行動宣言」※を発出したことをご存知でしたか。

※地球規模で直面している気候危機を、様々な主体が共有し、将来世代へ持続可能な社会を繋いでいくため、気候危機に立ち向かう行動を進めていくことを目的に発出したもの。この宣言の中で、市も2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すこととしています。

(1つだけ)(入力必須)		[n=1,013]
宣言の内容まで知っていた	40	3.9%
宣言が発出されたことは知っていた	156	15.4%
知らなかった	817	80.7%

Q3: 今後地球温暖化が進行すると次のような影響が発生すると想定されています。次のうち、あなたにとって発生したら特に困る影響を教えてください。

(3つまで)(入力必須) [n=1,013]

気象災害(台風、豪雨等)の高頻度での発生	887	87.6%
猛暑による熱中症リスクの上昇	585	57.7%
雨が降らない日が増加することによる水不足	479	47.3%
農作物の品質低下	267	26.4%
蚊等による感染症発生リスクの上昇	257	25.4%
動物の生態域の変化	177	17.5%
海面上昇による砂浜の消失	133	13.1%
家畜の肉質、乳用牛の乳量、乳成分の低下	66	6.5%
サクラ、ウメ等の開花の早期化による伝統行事や祭りの時期への影響	24	2.4%
降雪量の減少に伴うスキー場の減少	18	1.8%

Q4: 現在、あなたが実践している省エネのための取組みを教えてください。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,013]

レジ袋はできるだけ使わず、エコバッグを利用	864	85.3%
クールビズ・ウォームビズ	639	63.1%
省エネ性能の高い家電(LED・給湯器など)へ買換え	526	51.9%
効率的な照明の利用(点灯時間の短縮・ライトダウンなど)	519	51.2%
温水洗浄便座を使用後にフタを閉じる	512	50.5%
車の使用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動	405	40.0%
宅配便の日時指定やコンビニ受取・宅配ロッカーの利用	338	33.4%
地元の食材や季節のものを積極的に購入	332	32.8%
エレベーターはできるだけ使わず、階段を利用	326	32.2%
エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した運転)	322	31.8%
節水シャワーへの交換	198	19.5%
暑い日には体を冷やす夏野菜等を活用するなど、献立を工夫	194	19.2%
断熱性の高い厚手のカーテンへの交換	161	15.9%
エコカーへの買い換え	128	12.6%
再生可能エネルギーの利用(太陽光発電)	96	9.5%
省エネ住宅(高断熱住宅など)への住み替え・リフォーム	89	8.8%
その他()	23	2.3%
1つもない	10	1.0%

Q5: 今後、あなたがはじめてみたいと思う省エネのための取組みを教えてください。

(いくつでも)(入力必須) [n=1,013]

地元の食材や季節のものを積極的に購入	252	24.9%
節水シャワーへの交換	246	24.3%
暑い日には体を冷やす夏野菜等を活用するなど、献立を工夫	241	23.8%
省エネ性能の高い家電(LED・給湯器など)へ買換え	229	22.6%
エレベーターはできるだけ使わず、階段を利用	223	22.0%
効率的な照明の利用(点灯時間の短縮・ライトダウンなど)	185	18.3%
再生可能エネルギーの利用(太陽光発電)	185	18.3%
エコカーへの買い換え	172	17.0%
断熱性の高い厚手のカーテンへの交換	163	16.1%
車の使用を控え、公共交通機関や自転車・徒歩で移動	162	16.0%
レジ袋はできるだけ使わず、エコバッグを利用	154	15.2%
クールビズ・ウォームビズ	133	13.1%
温水洗浄便座を使用後にフタを閉じる	133	13.1%
省エネ住宅(高断熱住宅など)への住み替え・リフォーム	126	12.4%
エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した運転)	124	12.2%
宅配便の日時指定やコンビニ受取・宅配ロッカーの利用	123	12.1%
その他()	13	1.3%
1つもない	69	6.8%

Q6: 次に、「災害への備え」についてお聞きします。
地震や風水害などで自宅が破損した場合や破損するおそれがある場合は、どこに避難しますか。

(3つまで)(入力必須)

[n=1,013]

親族宅	412	40.7%
知人宅	59	5.8%
自治会館	174	17.2%
避難所	760	75.0%
宿泊所(ホテルなど)	253	25.0%
車中泊	336	33.2%
その他()	19	1.9%

Q7: 非常時の持出品※1・備蓄品※2として、ご家庭でどのような物を準備していますか。

[補足]

※1… 自宅から避難する際にすぐに持ち出すことができる必要最低限の必需品

※2 … 救援物資が届くまでの数日間、自足するために準備しておく食料・水・生活用品等

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,013]

飲料水	845	83.4%
食料	704	69.5%
懐中電灯、ランタン、ろうそく	650	64.2%
マスク	575	56.8%
携帯ラジオ	489	48.3%
トイレトペーパー	439	43.3%
携帯電話、スマートフォンの予備バッテリー	403	39.8%
衛生用品(ウェットティッシュ、除菌用アルコール)	388	38.3%
歯ブラシ、洗面用具	377	37.2%
カセットコンロ	374	36.9%
手指消毒用アルコール	361	35.6%
医薬品	326	32.2%
使い捨て手袋	309	30.5%
災害用トイレ	304	30.0%
下着類	257	25.4%
体温計	243	24.0%
スリッパなど室内履き	234	23.1%
毛布、衣類など	206	20.3%
寝袋、テントなど	177	17.5%
おもちゃ	80	7.9%
粉ミルク	18	1.8%
哺乳瓶	13	1.3%
アレルギー対応食品	12	1.2%
その他	17	1.7%
準備しているものはない	54	5.3%

Q8: 市内で大きな災害が発生した際、避難指示などの緊急情報や生活支援情報は、どの方法により入手しますか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,013]

ラジオやテレビ(ケーブルテレビを含む)	815	80.5%
防災行政無線	236	23.3%
防災行政無線の放送内容をきくことができるテレホンサービス(0180-994-999)など	25	2.5%
ちばし安全・安心メール	441	43.5%
その他の防災メール	97	9.6%
yahoo!防災速報	386	38.1%
その他の防災アプリ	87	8.6%
携帯電話・スマートフォンのエリアメール	376	37.1%
千葉市ホームページ	443	43.7%
その他のホームページ	40	3.9%
千葉市公式SNS(Twitter、Facebook、LINEなど)	308	30.4%
その他のSNS(Twitter、Facebook、LINEなど)	109	10.8%
町内自治会や自主防災組織	119	11.7%
家族	224	22.1%
ご近所や知人	181	17.9%
その他	269	26.6%
入手する手段がない・わからない	15	1.5%

Q9: ご家庭において、家具類の転倒・落下・移動防止対策(=家具転(かぐてん)対策)として何を行っていますか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,013]

安全配置 (寝る場所、座る場所、通路や出入口などに家具類を置かない。置く場合には背の低いものにしたたり、倒れる向きを考慮したりする。)	545	53.8%
対策器具等による固定(転倒防止金具等を使って家具類を固定する)	468	46.2%
集中収納 (居住スペースと収納スペースを分けることで生活空間にある家具を減らす)	247	24.4%
ガラスの破損・飛散防止や棚等の收容物の飛び出し防止 (飛散防止フィルム、扉開放防止器具など)	169	16.7%
その他	12	1.2%
対策は行っていない →Q11へ	160	15.8%

Q10: 家具転対策を行ったきっかけは何ですか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=853]

他地域の地震被害を知ったこと	425	49.8%
大地震を経験	368	43.1%
テレビ・書籍による紹介	332	38.9%
家族の勧め	104	12.2%
行政による啓発(説明会、訓練等)	55	6.4%
家具の転倒を経験	53	6.2%
知人等の勧め	29	3.4%
小売事業者の防災フェア	21	2.5%
行政の制度(助成等)を知ったこと	7	0.8%
その他	44	5.2%

Q11: (Q9で「対策は行っていない」と回答した方)
その理由は何ですか。
(3つまで)(入力必須)

[n=160]

ついつい先延ばしにしている	72	45.0%
手間がかかる	40	25.0%
費用がかかる	33	20.6%
やり方が分からない	32	20.0%
借家のため対策器具等を壁や天井等に取り付けられない又は取り付けにくい	27	16.9%
転倒するような家具類がない	22	13.8%
必要性を感じない	17	10.6%
壁に穴をあけたくない	17	10.6%
自分ではできない	16	10.0%
部屋の見た目が悪くなる	8	5.0%
その他	4	2.5%

Q12: 最後に、「水辺や花とのかかわり」についてお聞きします。
市内での日々の生活でどのような水辺と触れ合っていますか。

(いくつでも)(入力必須)

[n=1,013]

海辺(幕張の浜、検見川の浜、いなげの浜、中央港など)	438	43.2%
海辺の大きな公園 (幕張海浜公園、稲毛海浜公園、千葉ポートパークなど)	384	37.9%
大きな池のある公園(千葉公園、動物公園、泉自然公園など)	304	30.0%
川辺(花見川、都川、鹿島川など)	255	25.2%
川辺の大きな公園(花島公園、都川水の里公園)	83	8.2%
街なかを流れるデザインされた水路	48	4.7%
ビオトープ(坂月川ビオトープ、公園のビオトープ)	43	4.2%
調整池(こてはし台調整池、大和田調整池、大高調整池)	33	3.3%
特になし → Q14へ	265	26.2%

Q13: Q12で回答したもので、水辺と触れ合う頻度はどれぐらいですか。

(1つだけ)(入力必須)

[n=748]

ほぼ毎日	77	10.3%
週に2~3回	84	11.2%
週に1回	109	14.6%
月に2~3回	123	16.4%
月に1回	122	16.3%
年に数回	233	31.1%

Q14: 次世代にも引き継いでいくために充実させたいと思う水辺を選んでください。

(3つまで)(必須入力)

[n=1,013]

海辺(幕張の浜、検見川の浜、いなげの浜、中央港など)	650	64.2%
海辺の大きな公園 (幕張海浜公園、稲毛海浜公園、千葉ポートパークなど)	549	54.2%
大きな池のある公園(千葉公園、動物公園、泉自然公園など)	427	42.2%
川辺(花見川、都川、鹿島川など)	308	30.4%
川辺の大きな公園(花島公園、都川水の里公園)	150	14.8%
街なかを流れるデザインされた水路	125	12.3%
ビオトープ(坂月川ビオトープ、公園のビオトープ)	118	11.6%
調整池(こてはし台調整池、大和田調整池、大高調整池)	38	3.8%
特になし	51	5.0%

Q15: 「海辺」や「海辺の公園」において、充実したらよいと思うことを選んでください。

(3つまで)(必須入力)

[n=1,013]

ベンチなど、リラックスして過ごせる環境	528	52.1%
海辺の景観を保全する取組み	413	40.8%
トイレやシャワー	360	35.5%
海に見えるレストラン	353	34.8%
海辺でのイベント	191	18.9%
海釣りができる環境	175	17.3%
海水浴ができる環境	166	16.4%
マリンスポーツや、ビーチスポーツの環境	153	15.1%
観光船による海めぐり	141	13.9%
分からない	34	3.4%

Q16: 「川辺」や「川辺の公園」において、充実したらよいと思うことを選んでください。

(3つまで)(必須入力)

[n=1,013]

ベンチなど、リラックスして過ごせる環境	530	52.3%
景観を保全する取組	477	47.1%
トイレや手洗い場	463	45.7%
川辺に近付きやすい環境	320	31.6%
川に見えるレストラン	222	21.9%
釣りができる環境	176	17.4%
リバースポーツの環境(カヤック、カヌー等)	147	14.5%
ゆったりとした川下りができる	145	14.3%
分からない	36	3.6%

Q17: 市内の街なかで、よく目にする花の空間を選んでください。

(いくつでも)(必須入力)

[n=1,013]

身近な公園	512	50.5%
大きな公園	488	48.2%
駅前の広場やメインストリート	476	47.0%
植物園(都市緑化植物園、花の美術館)	265	26.2%
住宅地や事業所など	249	24.6%
保育園・幼稚園・小中学校など	246	24.3%
ショッピングモールなどの商業施設	228	22.5%
公共施設(市役所、区役所、公民館など)	215	21.2%
特になし	57	5.6%

Q18: 市内の街なかで、充実したらよいと思う花の空間を選んでください。

[選択肢補足]

※住宅などの庭を一般に公開し、交流を図る活動です。

(3つまで)(必須入力)

[n=1,013]

身近な公園	495	48.9%
駅前広場やメインストリート	475	46.9%
大きな公園	314	31.0%
公共施設(市役所、区役所、公民館など)	289	28.5%
ショッピングモールなどの商業施設	246	24.3%
保育園・幼稚園・小中学校など	188	18.6%
植物園(都市緑化植物園、花の美術館)	158	15.6%
オープンガーデン※として公開される住宅地や事業所など	130	12.8%
特になし	49	4.8%

選択肢:その他()

Q4 現在、あなたが実践している省エネのための取組みを教えてください。

・ 暖房・冷房を極力使わない。温度の変化をなるべく控える、生ごみの自家消費。
・ 千葉市内に限らず、車で渋滞中の道路利用をなるべく避ける。
・ ゴミの分別の徹底。
・ 湯舟の湯量を少なくする。辺に段ボールやビニールを使用して断熱性を高める。ベランダの鉢植えで暑さが軽減(植物による気化熱の影響)。
・ 環境に優しい電力会社への切り替え。
・ よしずを使ったり、打ち水などをする。
・ 食材の買いすぎをやめる。
・ マイボトル。
・ 終日運転している家電をIOT化して半日運転化。
・ 生ごみ等の畑での堆肥化。
・ エアコンを使わない。
・ バイオマス燃料の利用。
・ 可能な範囲で、使い捨て商品や耐用年数の短い商品を使わない。
・ 冷暖房を使わない。
・ 保冷剤を使ってエアコンの使用を抑える。
・ 換気扇を回すより、窓を開ける。接触冷感の寝具に変える。
・ 安いからといって買いすぎない(特に生鮮品)。
・ 入浴は時間を空けないですぐに次の人がする。
・ ゴミを増やさない。
・ 日差しを遮り、対角線上で窓を開けて風を通す。
・ 通常の節約、節水、ガス、電気、全部屋遮光カーテン。冷蔵庫に陽が当たらない様にしている。窓、玄関に隙間テープ使用。
・ 家中の換気。
・ グリーンカーテン。

Q5: 今後、あなたがはじめてみたいと思う省エネのための取組みを教えてください。

▪ すでにできることはやっている。
▪ バッテリーが長持ちする日本製の新機種スマホに今秋までに機種変更したい。
▪ 創エネ 自宅でできるソーラー発電や蓄電方法を試したい。
▪ 早寝早起き、特に夜更かしをしない。
▪ コンポスの利用。
▪ 政府が消費税廃止、給付金支給して貰わないと実施できない。
▪ 暑さ対策にたてす利用。
▪ 生ごみ等の畑での堆肥化促進。
▪ 今まで行ってきていることをさらに続ける。
▪ 環境負荷軽減に熱心な企業の商品の購入。
▪ 今は思いつかない。
▪ ほぼ全部努力しているので改めては今考えつかない。
▪ 今現在で出来る点は全てやっている。

Q6: 地震や風水害などで自宅が破損した場合や破損するおそれがある場合は、どこに避難しますか。

▪ テント (4件)
▪ 別宅 (3件)
▪ 丘の上の大学
▪ 自宅避難が可能なら自宅(築10年の鉄筋コンクリート構造)
▪ 住宅を改修した。災害時に自炊できるように道具と燃料を用意した。
▪ 学校
▪ 思いつかない。
▪ 避難は検討していない。
▪ 庭
▪ 自宅マンション
▪ わからない。
▪ とりあえず高台へ行く。
▪ マンションなので風水害はあまり心配がない。
▪ 下の方の花関係に自由記述がないのでここに書きます。千葉市はどこもかしこも雑草だらけの街になってます。